

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	災害や犯罪に強いまちづくり			総合計画コード	551
部名	都市建設部	主管課名	まちづくり推進課	主管課部課コード	050100
関連部課名	都市建設部(開発建築課、道路整備課、みどり公園課、下水道課)、水道部(水道施設課)、危機管理室				

1. 施策概要

めざす目的成果	地域における防災対策が進み、地震・火災・水害の被害を最小限に抑えられるまちになっている。また、防犯環境づくりが進み、犯罪が起きにくいまちになっている。					
施策概要	密集市街地の防災性の向上、商業・業務系の用途地域における不燃化の促進、集中豪雨などに対処できる雨水処理機能の向上、住宅の耐震化を図る。水道施設について、耐震化や老朽施設の更新、応急給水所の整備充実を図る。また、犯罪防止の観点から、道路や公園等の公共空間における夜間照明の確保・充実や、見通しを良くするなど、防犯機能の向上を図る。					
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市都市計画マスタープラン	計画期間	H	16年度 ~ H	37年度
		朝霞市地域防災計画		H	28年度 ~ H	年度
		朝霞市防犯推進計画		H	28年度 ~ H	32年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査を実施した。 ・防災対策や安全対策の一環として、横断歩道や橋梁などに道路照明灯を設置した。 ・安全対策の一環として、道路改良工事を実施し、また橋梁耐震補強工事に伴う負担を行った。 ・朝霞市道路整備計画に基づき、道路拡幅路線などの用地買収を行った。 ・耐震診断に伴う補助金を交付し、あわせて彩夏祭などで耐震工事の必要性の啓発活動を実施した。 ・雨水対策に向け各種工事を実施した。 ・防犯街頭キャンペーンや防犯パトロールの実施、また防犯灯の設置や悪質電話被害対策機器の補助を実施した。 ・防災対策の一環として導水管耐震化工事および配水本管布設替工事を実施した。 					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	日常の安全・安心と災害時の安全・安心の確保と準備に向け、さまざまな調査、工事、買収、助成などの事業を実施した				
	子育てがしやすいまち	防犯活動や防犯パトロールを実施し、子どもたちが安全安心に生活ができ、また子育てに心配しないまちづくりを推進した				
	つながりのある元気なまち	地域における防災訓練や防犯活動、また防犯機能の向上に向け、訓練等を行った				
	自然・環境に恵まれたまち	市内には数多くの水や緑に囲まれた空間地が点在し、それを利用した避難地の確保や数々のイベントを開催し、自然と環境を上手く活用することができた。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		162,222	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 防火・準防火地域の指定地区数 (説明)現在は、北朝霞地区地区計画他5地区に指定しているが、今後、朝霞駅周辺や新たな区画整理などにも指定をしていく	地区	6	6	6	6	7
		6	—	—	—	—
② (説明)			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) ・防犯対策や安全対策に向け、横断歩道や橋梁などに道路照明灯を設置した。 ・朝霞市道路整備計画に基づき、道路拡幅路線などの用地買収を行った。 ・各種イベントにおいて耐震工事の必要性について啓発活動を実施した。 ・雨水対策に向け各種工事を実施した。 ・防犯街頭キャンペーンや防犯パトロールを実施した。 ・防災対策の一環として導水管耐震化工事および配水本管布設替工事を実施した。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) ・防犯対策や安全対策に向け、横断歩道の整備や道路照明灯の設置、また道路拡幅の必要性は高い。 ・災害時に向け、水道管や下水道管の耐震化工事の実施、また耐震化工事の必要性に向けた啓発活動の必要性は高い。 ・防犯街頭キャンペーンや防犯パトロールなどの啓発活動を実施することは、日ごろの防犯に対する意識の向上に役立つため、実施する必要性は高い。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ・照明灯などの機器設置の際に、LED照明の採用など環境対策も併せて検討する必要がある。 ・道路整備を進める上で、用地取得及び工事に多額の費用が必要となることから、整備の優先順位を定め、選択と集中により計画的に事業を進める必要がある。 ・道路整備を進める上で、市民要望、規模、時期、工期、費用などの要素が複雑に絡むことから、事業を計画的に進めながら、一方で臨機応変の対応が必要となることがある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し				
	(説明) ・朝霞駅周辺の商業、近隣商業地域や新たな土地区画整理地内について、防火・準防火地域の指定に向け、調査・研究を進める。 ・道路及び道路付属物の改良、改修については、優先度に応じて計画的に進めていく。 ・震災に備えた耐震化工事については、引き続き、計画的に事業を進めていく。 ・自治会等が所有する蛍光防犯灯については、LED防犯灯への交換を促進し、助成制度を実施する。				
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大				
	(説明) ・行政については、市民の暮らしを最優先に考え、道路改修や耐震化工事を計画的かつ積極的に防災に強いまちづくりを行う。また、市民は、道路の補修箇所の通報にご協力いただくとともに、地域の方々の防災活動の取り組みや、常に防災や防犯に対する意識を持ち続けていただくようにする。				
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)	有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	計 (単位:千円)		—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載				
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】 ・落橋防止対策工事が順次進められているが、特に鉄道を跨ぐ浜崎橋が未着手であるのは不安である。落橋防止対策については、早急に進める必要がある。(安全・安心なまちに関する所見より抜粋)				
部長の意見	災害や犯罪に強いまちづくりにあたっては、道路、上下水道等の公共施設の耐震化、老朽化対策、防犯対策等の対応だけでなく、市民、事業者が行う対策や協力も不可欠であり、その取組を啓発し、支援するための取組も必要である。このため、道路、上下水道等の公共施設については、各種対策の必要性等を踏まえた優先度に応じて、計画的に耐震化、防犯対策を講じていくとともに、市民、事業者の取組を啓発、支援する助成制度やソフト対策、啓発活動等も併せて実施していく。				

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	災害や犯罪に強いまちづくり		総合計画コード	551
部名	都市建設部	主管課名	まちづくり推進課	主管課部課コード 050100
関連部課名	都市建設部(開発建築課、道路整備課、みどり公園課、下水道課)、水道部(水道施設課)、危機管理室			

	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 建築物耐震化促進事業	10,368	6,207	5	5	現状のまま
	2 水路改修事業	0	2,033	5	5	現状のまま
	3 落橋防止対策事業	74,346	63,546	5	5	現状のまま
	4 安全なまちづくり推進検討事業	733	733	5	4	現状のまま
	5 建築行政事業	—	—	4	4	現状のまま
	6 都市計画総務事務事業	—	—	4	4	現状のまま
	7 基地跡地公園・シンボルロード整備事業	—	—	5	5	拡大
	8 街区公園整備事業	—	—	5	5	拡大
	9 雨水幹線等整備事業	—	—	5	5	現状のまま
	10 緊急雨水対策事業	—	—	5	5	H28で休止・廃止・終了
	11 水道施設耐震化事業	—	—	5	4	現状のまま
	12 道路改良事業	—	—	5	5	現状のまま
	13 道路用地取得事業	—	—	5	5	現状のまま
	14 道路照明灯整備事業	86,074	89,703	5	5	現状のまま
	15 防犯対策推進事業	—	—	4	4	現状のまま
	16 公園施設改修事業	—	—	5	4	現状のまま
	17 児童遊園改修事業	—	—	5	4	現状のまま
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	171,521	162,222	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性